

# 平成25年度 柏崎市刈羽郡音楽教育研究部 活動報告

部長 小嶋 美江子

## 1 研究活動方針

- (1) 研究主題「音楽のよさを感じ、伝え、共につくる音楽活動のあり方」と新学習指導要領の趣旨のもと、各校で児童・生徒の実態に応じた創意工夫のある授業を実践すると共に、授業実践研修会の研究授業と協議を活かして、日々の音楽授業の充実を図る。
- (2) 二つの事業「合唱指導講習会」と「小・中合同音楽会」を中心として、豊かな音楽表現について指導方法を研修し、主体的に表現する児童・生徒の育成を目指す。

## 2 研究の概要と成果

### (1) 合唱指導講習会 (参加者 62名)

○ねらい 合唱指導法について、モデル児童・生徒の指導を通して研修する。

○日時・会場 平成25年6月19日(金) 比角小学校 体育館

○講師 富澤 裕 (とみざわ ゆたか) 様 (合唱指導者)

○モデル学級 比角小学校4年生 教材曲「ゆかいに歩けば」  
第二中学校1年生 教材曲「この星に生まれて」

○成果 児童・生徒の実態に応じた適切な指導、発声法、楽曲分析の仕方、合唱指導における悩みへの回答など、参加者にとって大変分かりやすく授業や発表会に生かせる内容であった。



### (2) 授業実践研修会

○日時・会場 平成25年11月27日(金) 柏崎市立榎原小学校

○内容 2学年公開授業 星野美和教諭 題材名「気持ちをメロディーであらわそう」  
(教材名「ぷっかりくじら」)

○成果 表現領域に新たに加わった「音楽づくり」に焦点化したタイムリーな研修であった。鍵盤ハーモニカによる「3つの音のしりとりリレー」を、継続的に楽しんできた2年生児童は、本時、感じた気分をメロディーにしようとして一生懸命集中して取り組んだ。自らの感性や創造性を発揮しながら、自分にとって価値ある音楽を作ろうとする子どもたちの姿が見られた。その後の協議会では、公開授業にかかわって協議を深めた後、参加者が持ち寄った各自の音楽づくり実践レポートをもとに、グループ単位で互いの悩みや情報を交換し合った。今後の実践につながる有意義な研修会となった。



協議会では、公開授業にかかわって協議を深めた後、参加者が持ち寄った各自の音楽づくり実践レポートをもとに、グループ単位で互いの悩みや情報を交換し合った。今後の実践につながる有意義な研修会となった。

### (3) 第56回小・中合同音楽会

○日時・会場 平成25年11月6日(水) 午前の部 9:30 午後の部 13:30

11月7日(木) 午前の部 9:30 午後の部 13:30

○参加者 柏崎市刈羽郡全小・中学校の児童・生徒

○成果 柏崎市文化会館アルフォーレで2日間にわたる午前・午後4ステージ発表を行った。音響効果抜群の大ホールでの発表は、児童・生徒にとって大きな満足感を得られる体験となった。また、保護者・地域住民からも、「すばらしいホールで思い切り演奏する子どもの活躍を見ることができ、感動した」との声をたくさんいただいた。アルフォーレでの開催2年目となり、運営は大変スムーズにいった。また、発表演奏においては、技術の向上や内容の充実も感じられ、周りからの評価も高まっている。

## 3 反省と次年度へ向けて

今年度は、新たに授業実践研修会を実施したことで内容が充実し、部員の日々の授業に直結する実践的な研修となった。合唱講習会は例年大変好評であり、次年度も同じ講師による研修会を設定していきたい。小中合同音楽会については、プログラム編成やステージ運営の面でさらなる改善を図っていきたい。